

国土交通省道路局長 殿



平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のありました上記の件について、別紙のとおり提出します。

<道路財源関係>

地方においては、道路はまさに「命の道」であり、医療機関へのアクセス、防災、過疎化防止や経済活動など、道路の果たす役割は非常に大きく、道路整備がまだまだ遅れている現状の中では、道路財源の確保は最重要課題であります。

よって、次の事項について強く要望いたします。

- ・ 道路特定財源の検討については、地方に多い納税者の理解が得られるよう、また市町村の道路予算には過去の道路整備に係る起債の償還も含まれていることを十分考慮し、これまでの水準を低下させることのないよう措置すること。また、地方が必要とする道路整備が着実に進められるよう道路財源を十分確保すること。
- ・ 地方道路整備臨時交付金制度は、県道や市道など地方道路の整備に大いに有効な制度であることから、同制度の維持・拡充を行うこと。
- ・ 暫定税率の失効に伴う地方の減収分については、国の責任において確実に財源措置を講じること。

<道路整備全般>

必要な道路整備を進めるうえで、ただ単に費用対効果の効果が高いところを優先するのではなく、中央の都市部との地域間格差がある地方都市においては、道路整備の遅れが地域振興、発展を阻害する要因となっているなど、地域の実情に十分配慮していただきたい。

(日田市の個別要望事項)

1. 地域高規格道路「中津日田道路」の整備促進
 - ① 日田側からの早期着工
 - ② 山国～日田間の調査区間から整備区間への格上げ
2. 国県道等の幹線道路網の整備促進
 - ① 一般国道 212 号（都市計画道路上野三和線）日ノ出町～財津町間の 4 車線化の早期着手
 - ② 一般国道 212 号（日田市大山町～熊本県境）の整備促進
 - ③ 国道 210 号天瀬改良の整備促進、日田バイパス石井工区の早期着手（指定区間）
 - ④ 一般国道・主要地方道・一般県道の整備促進

○現状

- ・ 日田市は、北部九州のほぼ中央、大分県の西部に位置し、周囲を山々に囲まれた農林業と観光のまちであり、市街地において4本の国道が交差するなど北部九州の交通の要衝となっている。
- ・ 本市の周辺部は険しい山々が連なる厳しい地形条件のため、幹線道路の改良は著しく遅れており、幅員が狭くカーブも多く、安全・安心とは到底言えるような状況ではない。
- ・ 本市では誘致企業である日田キャノンマテリアルの進出が決定しており、若者の雇用促進や人口減少の歯止め、ひいては地場産業の振興、景気の活性化が大いに期待されているところであるが、地域高規格道路や国県道などの幹線道路網の整備が遅れているため、操業開始後の大幅な交通量の増加による交通渋滞等が懸念されている。

○課題

- ・ キャノンマテリアル日田の進出及びダイハツ九州久留米エンジン工場の操業開始などによる物流が大幅に増加することが予想され、市民生活への影響を考えると一般国道212号（都市計画道路）の4車線化の取組みが喫緊の課題である。さらに企業誘致等により地域経済の活性化を図るためには地域高規格道路「中津日田道路」や国県道等の幹線道路の整備促進が最重要課題である。
- ・ 日田市管内の国県道は大分県下で最低の改良率であり、平成17年の市町村合併により市域が一段と広がったことから、地域が連携を深め一体となって発展していくには、物流、人的交流、地域振興等を活性化させるための広域的道路ネットワークの構築が必要不可欠である。
- ・ 日常生活の利便性、救急医療のためのアクセス、防災対策などを充実し、地域への定住促進や若者の活気あふれる地域づくりのためにも、地域を連携する幹線道路網の整備促進が重要である。

（地域高規格道路・幹線道路）

地域間の広域的交流と活気あふれる地域づくりを推進し、企業誘致等による地場産業の活性化、生活・産業・文化・観光など地域活力の一層の活性化を促進するため、広域的道路ネットワークの構築をめざす。

（都市計画道路）

市街地の円滑な交通の確保と豊かな公共空間を備えた良好な市街地形成を図る。

（一般県道・市道などの生活関連道路）

生活に密着した道路については、超高齢化社会であることを踏まえ、利用者の安全性・利便性はもとより、地域の生活環境に調和した景観や潤いにも配慮し、快適で人に優しく安全・安心な道路空間の整備をめざす。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

大分県 日田市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	○地域高規格道路「中津日田道路」の整備 中津日田道路は大分県北・日田地方拠点都市の中津市と日田市を結ぶ延長約50kmの地域高規格道路であり、九州横断自動車道や東九州自動車道とともに循環型高規格幹線道路のネットワークを形成し、さらに重要港湾中津港に連結されるため、海上交通のネットワーク化も図れる重要路線である。 ○一般国道212号の整備 <都市計画道路部分の4車線化と 日田市大山町～熊本県境間の整備> 一般国道212号は大分県中津市から日田市を経由して熊本県阿蘇市に通じる延長約110kmに及ぶ幹線道路であり、沿線住民の生活福祉の向上と広域観光交流、さらには企業誘致、地域経済の活性化を支える極めて重要な路線である。	・ 北部九州の自動車関連産業の集積化となり、重要な基盤をより促す自動車関連企業の立地や地場企業の参入による地域経済の活性化が図られる。 ・ 中津、耶馬溪、日田、阿蘇地域を結ぶ北部九州の縦軸ともなる広域観光ルートが形成され、自動車産業の進出、地場産業・地域文化の振興とともに観光面での一層の活性化が促進される。 ・ 災害時や高次医療等の緊急事態においても、移動時間の大幅な短縮や緊急輸送路の確保など大きな効果が期待できる。	